

「教育ITソリューションEXPO」に行ってきました。

5月17日（水）、東京ビッグサイト（東京国際展示場 東京都江東区有明3-11-1）で開催されていた「第8回 教育ITソリューションEXPO」に行ってきました。教育へのICT活用の最先端技術・最新情報を得るためと、下の3つの講演会を聴くためです。

講演会は、①「東京工業大学の教育改革 ～学びの刷新～」(東京工業大学 三島良直学長)、②「次期学習指導要領改訂ポイントとICT活用」(信州大学 東原義訓教授)、③「ポートフォリオやe-シラバスの活用で修学目標を能力獲得に転換 一入試制度に困らない学生の成長～」(金沢工業大学 青木隆教授)を聴きました。特に、③の講演会がたいへん勉強になりました。金沢工業大学がたいへん評判がよく、就職のいい大学に飛躍した「秘密」がわかりました。長年かけて非常に丁寧に教育に取り組んだ結果でした。

ICTに関しては、何と約800社の出展がありました。タブレット・デジタル教材・各種インフラの他、学習指導要領改訂で3年後に小学校で始まる「プログラミング教育」関連製品が熱かったです。本校では、タブレットを活用した先進的な授業も実施しています。しかし、私はタブレットは、あくまでも道具であり、授業は「face to face」が基本だと考えています。また、タブレットと「アクティブ・ラーニング (AL)」を結びつける動きもありますが、私は「別」に考えた方がいいと思っています。つまり、ALは、タブレットやICTインフラなしでも実施可能だということです。

会場で、本校SSH担当の吉村先生や、AL関係の仲間たちと会うことができました！

